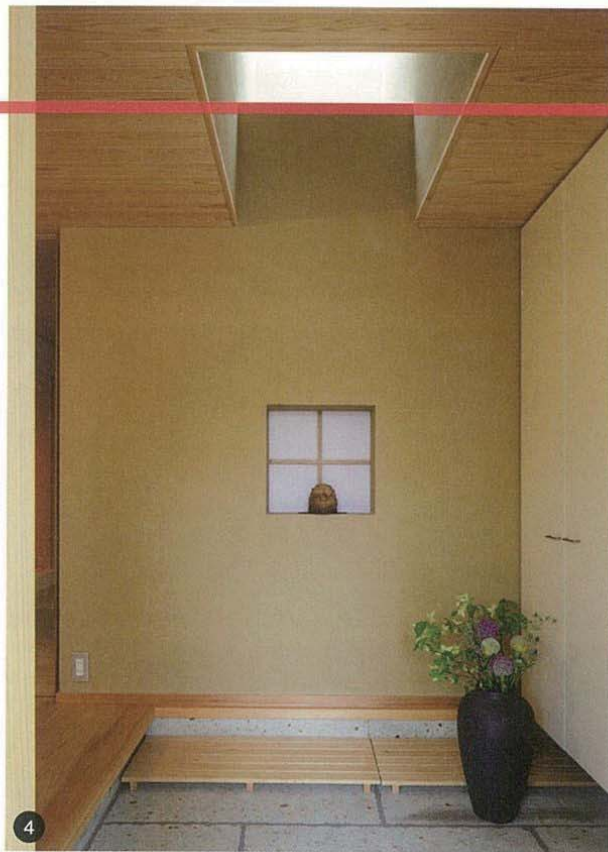




外部との融合



本物の素材



陰影のある佇まい



回遊できる

右ページ/宮脇邸は吹き抜けのリビングダイニングを中心にしたのびやかな空間。ゲストルームの2階とオープンでつながり、ワンルームのような雰囲気。①土壁や無垢材、畳など、自然の素材で構成された空間に、トップライトからの光がやさしく注ぐ。②建物をコンパクトにするかわり、庭やテラスを設けて室内外を一体に。③間取りはもちろんキッチンのレイアウトも回遊できる間取りに。行き止まりをつくらず広々暮らせる。④住まいの顔となるエントランス。陰影が住まいに趣を与える。



## 建築家・伊礼智さんと考える 「終の棲家」

自然の素材、庭と一体となる開放的な空間、暮らしやすい間取り……。建築家の伊礼さんはそんな条件を満たし、快適かつ美しい住まいを実現するエキスパートとして知られる存在です。富山県高岡市の宮脇邸をモデルに終の棲家について教わりました。

撮影/飯貝雅司 取材・文/小森知佳 間取り図/池田純久江